



以下の QR コードをスマートフォンのカメラアプリや専用のアプリを使って読み取ることで、一般質問の録画記録が閲覧できます。



- ・一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
- ・「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。12月議会分は3月に公開予定。



広報常任副委員長
総務産業常任委員

矢野 修一

「地域福祉の拠点としての福祉センター整備」と 「社会福祉協議会の役割強化について」



動画視聴できます

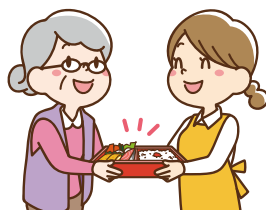
（健康推進課長） ケアマネージャーや公共施設の職員、知人、友人の協力などの協力が必要であり、地域全体が認知症の理解を深めることが大事である。お手伝いや見守りができるように、まちづくりを推進していく。

認知症の方こそ、外出の機会を確保する必要があり、乗合タクシーの利用支援は喫緊の課題であり、今後、検討等、期待したい。



高齢者の食の支援で、週2回配食サービスがあるが、回数が少なく、糖尿病、腎臓病などの特別食に対応できないのが現状である。高齢者の食の問題についてどう考えるか尋ねる。

（健康推進課長） 糖尿病などの特別食に対応できていると言われると、現状は対応できていない。今後は、保健センターと連携して健康指導によるサポートを、各関係機関と情報共有を図りながら、高齢者のニーズを把握しながら、食生活の改善等に努めていく必要があると考えている。



高齢者が参加できる趣味交流の場が少ない現状に対する町の認識、町として、高齢男性の地域参加率の低い現状を、どの程度把握しているのか。また、趣味、活動の場が不足していることを、課題として認識しているのか。地域包括センターや、社協からの報告をどう受け止めているのか、町の見解を伺う。

（福祉課長） 高齢者の皆様が、無理なく参加できる環境づくりは大変重要であり、既存の活動や介護予防の取組みを男性にも、利用しやすい形で広げていくことが重要である。そのため、福祉課、健康推進課、社協も含め、関係団体とも連携しながら、男性でも参加しやすい、自主的な活動が続けられるような支援についても、今後工夫しながら取り組んでいく。

社協の老朽化、住民福祉の中核機関が入る建物でありながら50年以上経っていることで「建て替え」「大規模改修」「移転」など具体的な選択肢を持っていない。町として、どの選択肢を想定して検討しているのか。明確な方針を聞きたい。

（町長） 町が勝手に決める問題ではないので、町、当局社会福祉協議会そして議会も一緒になって、そういったものを検討、協議していく必要があると考えている。

南関町には現在、町民が気軽に集い、福祉活動や相談支援が行える「福祉センター」的な拠点施設が存在しないのが現状である。こうした中で地域福祉の拠点整備をどう進めるのか、また、社会福祉協議会との連携・役割分担をどう考えていくのかを問う。

（町長） 本町には「福祉センター」という名称の施設はありませんが、「交流センター」・「ukara」をはじめ、地域の皆様に交流の場として使用されている施設がある。また、相談や支援については、福祉課、健康推進課、社会福祉協議会が連携しながら対応しており、現時点で支障は生じていないと認識している。

南関町の乗合いタクシーは事前予約制で運行されている。しかし、町内には、認知症の方も多く、自ら予約を行うことが困難であるため、事実上利用できない方がおられるという声が寄せられている。そこで、認知症の方が自ら予約できず利用できないケースがどれくらいあるのか、また、その課題をどのように把握しているのか現状認識を尋ねる。

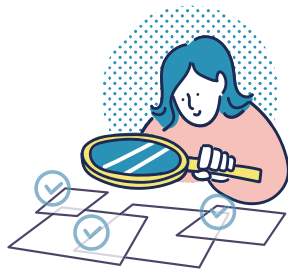


「行政評価制度の実効性向上」と 「子育て交流拠点、全天候型屋内遊び場の充実」

行政評価制度の実効性向上について

町民の皆さんに対して、税金が何に使われ、どのような成果が生まれたのかを説明するためにも、行政評価の充実というのは避けて通れない課題だと考える。町としても、「情報共有に努めて、今後の協働のまちづくりにつなげることが課題である。」と認識されているのであれば、町の規模や、人員体制に合った評価の充実、運用を検討し、できる範囲で見える化を進めていくことが、行政の効率化や職員の業務改善、更には町長のリーダーシップの根拠にもつながるのではないかと考える。これからの行政評価制度について、町長の方針を尋ねる。

(町長) 町民の皆さんが1番何をこれから求めているかというのは、行政がどういった運営をし、そのためにどういう予算が使われているか。そして、どこに重点的に使われているか、どういう仕組みで決まっているかが、見えにくい部分がある。今回の質問のように、行政職員で分かることでも、町民の皆さんに分かりにくいことが多くあるので、この評価結果で、この事業が必要だからやっていますというような流れが分かる公表、見える化を、少しずつでも、一気に全てをやるというのは恐らく難しいと思うので、今、提案型助成事業の話もありましたが、特に住民の皆さんが関心を持たれている事業に絞って対応するなど、そうことも含めながら、検討を進めていきたいと考える。



子育て交流拠点、全天候型屋内遊び場の充実について

国・県の補助金や交付金を活用した全天候型屋内遊び場・子育て交流拠点など専用施設の整備について尋ねる。

(町長) 町内には、小規模ではあるが、屋内で遊べる施設が一部存在している。

子どもたちの遊び場は、単に場所を提供するだけではなく、地域との繋がりやコミュニティ形成といった観点も重要であり、地域住民や関係機関との連携が不可欠である。

近年は、夏休み期間中の猛暑により、子どもが屋外で遊ぶには危険な日も増えており、屋内の遊び場へのニーズが増しているのではないかと、私も感じている。議員ご提案のような施設が将来的に整えられることは、



文教厚生常任副委員長
広報常任委員
議会運営委員

福山美佳

子育て環境の向上となり、有益なものになると認識している。そのため、まずは町内の既存施設の活用を基本とし、運動施設内にあるスペースなど、活用できる場所について、どのような提供方法が可能であるのか研究していく。

また、子育て支援の環境整備は、単独の部署だけでなく、町全体で取り組むべき課題であるとも認識している。今後は、教育委員会、福祉課、建設課など関係所属課と連携し、施設整備の可能性や利活用の方策について協議を進め、多角的な視点から検討を行うことで、より実効性のある支援体制の構築を目指す。

町としては、地域資源の有効活用と子育て世代の定住促進を両立させる観点から、安心して子育てができる環境整備に引き続き取り組んでいく。





総務産業常任委員

境田敏高

ふるさと納税制度について

ふるさと納税の寄付額、受け入れ額から他自治体への寄付に伴う税控除額と業務経費を差し引いた近年の推移と現状を尋ねる。

(町長) 平成27年度のふるさと納税件数が280件、寄付額5,321千円、純益3,964千円である。平成28年8月に「一般社団法人 南関ふるさと応援団」に返礼業務を委託している。平成28年度は、納税件数3,215件、寄付額93,204千円、純益は49,770千円である。令和6年度は、納税件数9,459件、寄付額1億58,419千円、純益は79,479千円となっており、過去3年間は同等額で横ばいの推移である。令和6年度の寄付額から業務経費を引いた額79,479千円から税制控除額4,275千円を引いた額は、75,205千円である。

県産米と、南関米は違う。ここで南関米の評判を落とすと、町全体の評価が落ちる。信頼を築くには何年もかかって築かれている。ローカルへの依頼は、町長の肝煎りと聞いている。もっと寄附金を伸ばせる見通しはあるのか。

ふるさと納税制度・会計年度職員任用制度・町の財政について



動画視聴できます

(町長) 南関産、ブランド米ももちろんであるが、熊本県産米ということが、今のふるさと納税の各市町の主流である。これから金額面も含めてローカルと、熊本県産米ということで、南関米自体も、もちろんブランド米も、いろんな調査をしながら、金額等も含めて調整していく。年度末には、そういった数値が必ず伸びてくるものと思っている。

会計年度任用職員の採用について

優良な会計年度任用職員の採用試験と近年の現状と課題を尋ねる。

(総務課長) 採用試験は、通常「書類審査」と「面接審査」を原課の課長以下担当係長等で行う。会計年度職員は、1年単位の契約更新となっている。令和5年度59名、令和6年度62名、令和7年度68名である。

近年役場職員をやめ、議員になる人が増えている。議員現職のまま試験を受け、役場職員になった人がいる。対応に問題はなかったのか。

(総務課長) 議員と兼ねることができない職員に、パートタイム会計年度職員は含まれない。

議員たるものは、政治倫理条例がある。そこには、「いやしくも自己の地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図ることのないように、町民の信頼に應じなければならない」とある。町の人には本当に首をかしげている。うわさもいろいろ出ている。苦情もなかったのか。

(総務課長) 町のほうへの苦情というのは一切ない。

町の財政について

財政健全化の割合を示す経常収支比率と自由に使える預金の財政調整基金などの取組と、国債を中心とした債権運営をどのように進めているのか。

(町長) 南関町の現状は経常収支比率90%前後を推移しており、急激に悪化しているような状況ではない。財政調整基金は10億円である。しかし、近年の物価高騰、人件費の増加、公債費の高止まりなどの要因から、今後は経常収支比率の上昇が見込まれる。

10年物国債を三回に分けて額面総額6億円を5億97,328千円にて購入している。毎年5,800千円を利息として財産収入に計上する。10年間の利息収入の合計は、57,161千円を見込んでいる。

町の借金は、令和6年度78億円、5年度は77億円、4年度81億円。公平に負担するが、旧南関町の公共工事が非常に多い。町民全体に公平に使うべきである。公平になる予算計画はあるのか。

(総務課長) 振興計画のほうで事業を進めている。政策事業については、どうしてもやるべき事業なので、別の補助財源を探し出ししながら、今取り組んでいる。





動画視聴はこちら



町長の3期12年の成果について (農業の振興について)

この質問については、農家の皆さん、特に若手農家の皆さんが、自分たちがこれから農業をしていく上で不安であると思っている。また、これから町の農業、土地を誰が守っていくのか、多くの声を頂いて、この質問をしている。

(町長) 1つ目は、「圃場整備事業」で、就任前の整備率が26.8%で現在は整備率が45%となる見込み。

2つ目は、「安定した収入が見込める農家」を目指し、米以外の農業所得の確保を図るため、穀物類、施設園芸の拡大、畜産の振興に努めている。

3つ目は、「農業生産法人の設立支援」で、農業法人設立支援を図る取り組みを進め、平成30年8月に南関町初となる「農事組合法人よなだ」を設立し、モデル地区を立ち上げることが出来た。

4つ目は、「地産地消と食育」として、「学校給食」に町内の農家の皆さんが育てていただいた農産物・畜産物を提供している。また、今回上程した南関町「いただきます」を推進するまちづくり条例は、食育を考え推進する目的も含めている。



5つ目は、「6次産業化の推進」として、町内事業者と推進することに努めており、平成30年3月に「南関町加工品開発センター」が完成し、加工品開発の実績は35品目に及び、令和6年度、延べ988人の利用をいただいている。

6つ目は、「農産物等の販路拡大」として、平成28年度に「ふるさと応援団」の設立を基に、返礼業務を委託し、販路拡大を目指し活動してきた。南関のお米は、高い評価をいただいている。



農産物の販路拡大の中で、米のブランド化についてはブランド化、ブレンド化が非常に分かりにくくなっていると農家の方が言われている。ブランド化の会議の成果について尋ねる。

(経済課長) これからもう一步踏み込み、令和8年度には、協議会を設置し、中長期的な取組の目標の検討段階に入る予定で進めている。前回の会議で、一目で分かるようなシール等を作成したらどうかという意見もあり、のぼりなどで発信をして南関米のブランド化に向けた取組をしていきたいと考えている。



総務産業常任副委員長
議会運営委員
有明広域行政事務組合議員

西田恵介

最後の農業振興の産業経済費補助金について、6月定例会の中で、12月補正で可能ならば、ふるさと納税を充てると答弁があったが今回、補正には上がっていない。この点は見込みが甘かったのではないかな。

(町長) 熊本県産米はどこの市町村もそれが伸びており、町も一つの手段として伸ばそうという考え方をであったが、出品が遅く遅れている状況である。いろんな方策で進めていきたい。町創生臨時交付金先週末、連絡が来た。農業を重点施策として、内容を詰めて、これまでの産業経済費補助金にも充てていきたい。

これから、10年、20年先の町の発展を想うと今、南関町で生活している人が、いかに幸せな生活を送っているかが一番大切だと思う。その中で、南関町の農業振興の役割を生活している人の立場で考えた施策を考え実行していきたいと思う。



食生活改善推進員協議会

& 広報委員



生活改善推進員（ヘルスメイト）とは？

A 地域における食育の推進は、地域の健康課題や食習慣、食文化等を理解し、地域に密着した活動を幅広く推進していくことが重要です。「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、生活習慣病予防対策に重点を置き、時代に即した健康づくりの食育活動を進めています。地域における食育推進活動の最大の担い手です。

食について学び、地域で食生活の改善や食育の普及活動を行うボランティアです。

家族、そしてお隣さん、お向かいさんなどに働きかけ、仲間とのふれあいを通じて、地域ぐるみの良い食習慣づくり、健康づくり活動を展開しています。地域への伝達講習は、鬼王、草村、肥猪地区で実施しています。

現在の会員は28人。

(女性：27人 男性：1人)



今日の活動について教えてください。

A 自らのスキルアップのため、年に6回食生活改善推進員研修会を行っています。

管理栄養士さんに指導いただき、今回のテーマは「歯の健康について」。料理は「具たくさんピリ辛味噌汁、山芋と柿の和え物」でした。とても美味しかったですよ。



また、基本的な料理を中心に、いざという時のために作れるように、自らの健康に気を配り生活習慣病を予防することを目的に、年に5回男性料理教室を行っております。いつも平日に行っておりますが、11月は日曜日にも開催。一般男性を対象として12人の参加がありました。メニューは、ミルクちゃんぽんと焼きギョウザで好評でした。

年に1回視察研修を行っております。2023年度は南阿蘇村のそば道場で、2024年度は牛乳拡大事業の為、酪農マザーズ熊本工場の見学を行いました。本年度は糸島市でのメンマ作りの研修を予定しています。また、コロナ禍前は、町の健康検診の時、「減塩味噌汁」等を提供しました。



Q この会へ参加しての感想は？

- A
- 自然と減塩など生活習慣病予防の習慣が身につきました。
 - 味噌づくりやお魚のさばき方など身につきました。
 - 何よりも会員みなさんと知り合え、交流することがとても楽しいです。

Q 町へのご要望などありませんか。

A 研修は〈ukara〉の調理室を利用しておりますが、とても使いづらいです。もう少し使いやすいように工夫してもらいたいです。

また、最近、本会への入会条件である食生活改善推進員養成講座が新型コロナウイルス感染症の影響により実施されておりません。本会員は高齢の女性が多く、今後世代交代や男性会員を増やす必要があります。定期的に食生活改善推進員養成講座を行う必要があると思います。

Q 食生活改善推進員（ヘルスマイト）になるためには？

A 町が行う食生活改善推進員養成講座を受講し、ボランティアとして地域で活躍して下さる人を募集します。特別な資格は必要ありません。

また、平成24年から男性会員の加入が可能になりました。男性料理教室の参加者、単身男性、そして会員のご主人等を誘っていただき、大きな健康の輪が広がる事を期待しております。

食生活改善推進員 になりませんか？



食生活改善推進員協議会

前列左から

村山	ツネ子	さん
田中	節代	さん
岩坂	はるえ	さん
菱木	喜代子	さん
熊谷	喜代子	さん (会長)
北原	恵子	さん
松永	麻理	さん (健康推進課・管理栄養士)
橋本	富美子	さん
北山	二三子	さん
野田	恵子	さん
松本	壽代	さん

後列左から

刈川	久美子	さん
良田	眞弓	さん (調理指導・栄養士)
西昌	子	さん
内場	惇子	さん
奈良原	美代子	さん
上原	美恵子	さん
龍輝	代	さん
島崎	幸子	さん
中村	やよい	さん
木村	利江	さん
富永	満子	さん
川上	靖子	さん
吉田	英次	さん

写っておられない会員

中村	令子	さん
江口	常子	さん
中村	満枝	さん
片山	ミサト	さん
原賀	由美子	さん
石井	節子	さん

南関町は「健康寿命日本一を目指す町」宣言を行うと宣言しております。

生活習慣病予防対策に重点を置き、時代に即した健康づくりの食育活動を進めている食生活改善推進員協議会が果たす役割はとて大きいと思います。

益々のご発展を期待します。

広報常任委員会

私が考える、南関町の未来



南関中3年
はまぐち さな
濱口 紗那さん

私は南関町に感謝していることがあります。それは地域の方々がしてくださる挨拶です。小学校でも中学校でも、私の登下校中に、地域の方々が「おはよう」、「おかえり」、「お疲れ様」などと声をかけてくださいます。

私は中学3年間、部活を頑張ってきましたが、きついこともありました。たくさん練習しても、思うようなプレーができなかったことが一番きつかったです。練習後、帰っているとき一人になると溜息が出ることもありました。そのようなとき、近所の人が「お疲れ様」「頑張ってるね」と声をかけてくださったことが何度もありました。そのようなときは、心がとても楽になりました。そして、明日も頑張ろうと思い、3年間部活を続けることができました。

私の将来の夢は、介護の仕事に就くことです。そのために、卒業後は資格の取れる高校へ進学します。3年間勉強に励み、将来は南関町の介護の必要な方に役立てる仕事に就きたいです。そして、南関町に貢献することで、南関町に恩返しをしたいです。

南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

議会を 傍聴しませんか



定例議会は年に4回
3月、6月、9月、12月に開催。

- どなたでも傍聴できます。
- 定員 30人

議会日誌

■10月	10月2日(木)	文教厚生常任委員会
	10月9日(木)	全員協議会 町村議会議員研修会
	10月16日(木)	広報常任委員会
	10月27日(月)	広報常任委員会
	10月30日(木)	広報常任委員会
■11月	11月4日(火)	文教厚生常任委員会 (南関中訪問)
	11月5日(水)	総務産業常任委員会
	11月6日(木)～8日(土)	議員視察研修
	11月11日(火)	文教厚生常任委員会
	11月17日(月)	全員協議会
■12月	11月18日(火)	議会運営委員会
	12月2日(火)	第5回定例会
	12月3日(水)	第5回定例会 文教厚生常任委員会 総務産業常任委員会 広報常任委員会 議会運営委員会
	12月4日(木)	全員協議会
	12月5日(金)	第5回定例会
	12月18日(木)	広報常任委員会

編集後記

「4年間お世話になりました」

この80号をもちまして、第18期議会広報常任委員会は、任期満了のため、議会だより「山郷」の作成を終える事となりました。この4年間で「生の声を聴く」の取材にご協力いただきました各種団体の皆様、「私が考える、南関町の未来」で執筆いただきました中学生の皆様、本当にありがとうございました。皆様からいただいたご意見・ご要望、また南関町の未来への創造を「山郷」を通して発信できたことは大変、意義のある事だと思います。議会だより発行は、町の事を知るためにほぼ新人議員で編制される委員会です。戸惑いや失敗も多々ありましたが、皆様のご協力と温かいお声かけでなんとか第18期議会広報常任委員会最後の「山郷」の発行を終えました。(感謝、感謝です。)



4年間、本当にありがとうございました。

次回の議会だよりは、第19期メンバーにバトンを繋ぎます。
(福山美佳)

□ 発行責任者

議長 立山 秀喜

□ 編集(広報常任委員会)

委員長 伊藤 博長

委員 山口 純子

副委員長 矢野 修一

委員 福山 美佳